



## 寄贈図書案内



本学校友会会長 中村日六士、木美ご夫妻より  
『サー・ウィンストン・チャーチル：声による大戦回顧録』（レコード 12枚組）  
（キング・レコード）

岡山大学教授 江口泰生氏より  
江口泰生著  
『ロシア資料の形態音韻論的研究』  
（岡山大学文学部）

水内透氏より  
水内透著  
『森鷗外と西洋』  
（今井書店）他1冊

宇城由文教授より  
宇城由文著  
『池西言水の研究』  
（和泉書院）

百瀬侑子氏より  
百瀬侑子著  
『知っておきたい戦争の歴史』  
（つくばね舎）

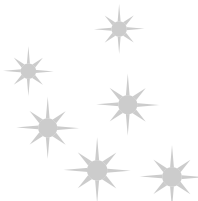
小倉博史教授より  
小倉博史、モーリス・ジャケ、舟杉真一著  
『Progressions 仏検準1級・2級対策』  
（朝日出版）

野々口美奈氏より  
Agatha Christie著  
『Assassinato no Expresso do Oriente』  
（Nova Fronteira）他21冊

大阪外国語大学名誉教授 本学非常勤講師  
大野徹氏より  
大野徹著  
『二十世紀のアジア』  
（晃洋書房）

上記の通り寄贈を受けましたので、ここに紹介し、ご惠贈いただきました皆様に本紙面をかりて厚く御礼申し上げます。  
（データは平成15年6月現在）  
（管理運営課受入係）

## 表紙に掲げられた資料の解説



THACKERAY, William M.  
Vanity Fair  
London, 1848

### サッカー 『虚栄の市』

ウィリアム・メイクピース・サッカー（1811-1863）はイギリスの小説家であり、インドのカルカッタに生まれた。ケンブリッジ大学を中退し、後にパリで文筆の修行をした。1860年にはコーンヒル誌の主筆となったが、1863年12月24日の朝、心臓病で永眠した。彼は上流社会の生活を詳細、的確、風刺的に描写した。

『虚栄の市』はサッカーの出世作、かつ代表作といわれているもので、1846年1月にBradbury & Evans社が出版を受諾した。初め《The Novel without a hero : pen and pencil sketches of English society》という表題で、月に一冊の分冊出版という条件であったが、サッカーの都合で遅れ、1847年1月から1848年7月にわたり、《Vanity Fair》という表題で黄表紙の20分冊となって発表されることとなった。草稿も全面的に書き換えや書き足しが施されたといわれている。本書はその初版本である。

この作品は裕福な商人の娘であるアミーリア（Amelia）と低い身分であるが才知に優れたレベッカ（Rebecca）という親しい二人の女性の人生の浮沈と性格の対照を扱った小説である。やや類型的で説教的であるのが欠点とされているが、1840年代において本格的近代小説の形をとっていることは注目されている。

原寸 21.9×13.1cm

『洋書百選』（1972年本学図書館刊行）より抜粋し、加筆。

